

価値創造の全体像

価値創造プロセス

当社グループは、サステナビリティをめぐる課題への対応が、経営の重要課題のひとつであると認識しており、それらを経営に取り込むことにより、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、企業価値の向上を目指しています。

外部環境の変化やステークホルダーからの要請を踏まえ、長期ビジョンとして掲げている「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」を実現するために、当社グループの強みを活かし、新たな価値の提供に挑戦し続けます。

長期ビジョン →P25

すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して

リケンテクノスを 取り巻く外部環境

脱プラスチックの動き	デジタル化の潮流	国内市場の縮小	業界の再編
環境意識の高まり	EV化の進展	アジアの成長	東証からの要請



財務資本
総資産額：1,156億円

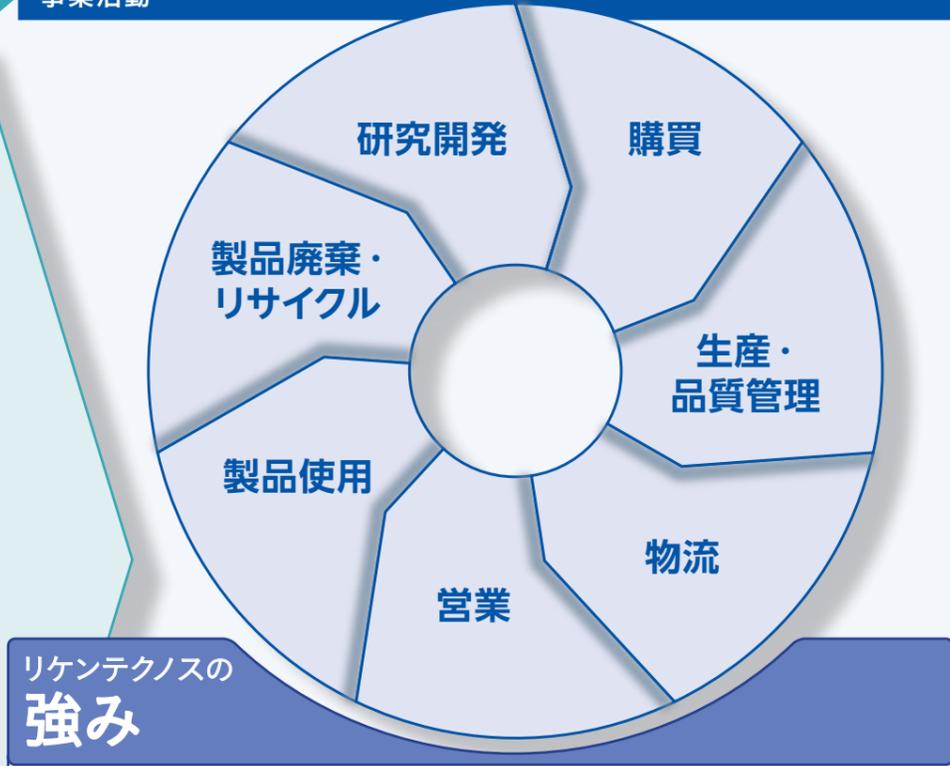
製造資本
有形・無形固定資産：307億円
生産拠点：15 (国内：7、海外：8)

知的資本
研究開発費：18億円

人的資本
従業員数：1,904名

社会関係資本
海外拠点：12
海外売上高比率：49.8%

自然資本
原材料：314千t
総エネルギー投入量：1,983千GJ
水資源投入量：1,094t (2023年度)



リケンテクノスの強み

高い技術力

- 処方設計技術：**様々な原材料を使いこなし、ニーズの多様化と高度化に的確に対応した設計を行っています。
- 配合・混練技術：**お客様での加工適性を高めるため、最適な混練状態にてコンパウンドを提供しています。
- フィルム製膜・加工技術：**フィルム製膜、ラミネート、塗工技術の総合的追求により、付加価値の高い機能性フィルムを提供しています。

グローバル展開する優良顧客に対して、顧客の望むものを届ける力

- グローバル展開：**日本以外にもASEANをはじめとした世界各国に生産拠点を有しており、お客様の要望に対して最適なソリューションを提供する体制を整えています。
- 顧客基盤：**競争力があり成長を続けているグローバル日系企業と友好な関係を構築し、各種製品を提供し続けています。
- 顧客対応の技術：**顧客の要望に対して製・販・技、一体となって丁寧に対応し、お客様ごとにカスタマイズした製品を提供しています。

アウトプット

トランスポーターション →P35

- ワイヤーハーネス
- 自動車成形部材

デイリーライフ&ヘルスケア →P36

- 医療製品
- ゴム代替
- 食品包装用ラップ

エレクトロニクス →P37

- 電力・産業電線
- 情報通信
- 光学用フィルム

ビルディング&コンストラクション →P38

- 建築用フィルム
- 住宅・建築資材

アウトカム

経済価値の提供 →P19

- 売上高：1,257億円
- 営業利益：87億円
- 当期純利益：68億円
- 自己資本比率：55.7%
- 配当性向：28.0% (2023年度)

社会価値の提供 →P20

すべての生活空間に“快適さ” (品質・スピード・ソリューション・社会課題解決への貢献) を提供

ステークホルダー

株主・投資家

お客様

取引先

従業員

地域社会

企業文化の醸成/コーポレート・ガバナンス/リスクマネジメント/コンプライアンス →P51~P54、P59~P76

マテリアリティ/中期経営計画 →P25~P28

リケンテクノス ウェイ (ミッション/コア・バリュー/基本行動) →P9~P10

価値創造の全体像 価値創造プロセス

経営資本から展開される事業活動

資本 (2023年度)

資本の高度化に向けて



財務資本

- 積み上げてきた安定的な財務基盤
- ・総資産額：1,156億円
- ・自己資本比率：55.7%
- ・D/Eレシオ：0.19倍

当社のPBRの推移



- 政策保有株式の縮減による成長投資の原資創出とキャッシュアロケーションを通じたPBR1.0倍の実現
- 資産効率の追求 (目標ROE 8.0%以上)*
- ※ 現3か年中期経営計画最終年度目標値
- 財務レバレッジの最適化



製造資本

- グローバル拠点連携によるリスク分散と迅速な顧客対応
- ・有形固定資産：284億円
- ・無形固定資産：22億円
- ・生産拠点：15 (国内：7、海外：8)



- 国内・海外での生産設備の増強
- 最新鋭の機器・設備の導入と製品の安定生産・提供
- ・塩化ビニルコンパウンド生産設備を増設 (ベトナム、米国)
- ・熱可塑性エラストマーコンパウンドの生産設備を増設 (国内)
- ・DXによる省人化・合理化投資の実施



知的資本

- 蓄積されてきた配合加工技術や生産技術のノウハウ
- 保有特許による事業優位性の確保
- ・保有特許数 (国内外)：692件
- ・外部機関との協案件数 (単体)：累計13件 (2022~2023年度)



- オープンイノベーションの推進 (産学連携・産産連携による共同研究)
- 研究開発におけるDX (AIやMI) 活用によるデータ駆動型の研究環境の整備
- 最新鋭の試作機の導入



人的資本

- 「リケンテクスウェイ」を体現するグローバルな人材
- ・従業員数：1,904名 (世界8カ国)
- (国内：972名、海外：932名)



- 成長戦略に基づく人材育成計画の遂行
- ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進
- 従業員エンゲージメントの向上



社会関係資本

- グローバル展開
- 地域・自治体との信頼関係
- ・海外拠点：12
- ・サプライヤー数：約900社



- 人権デュー・ディリジェンスを視野に入れたサプライヤーエンゲージメントの強化・拡充
- 工場所在地域を中心とした社会貢献活動の実施



自然資本

- 省エネ貢献製品、環境配慮型製品の開発
- 工程内リサイクルによる廃棄物の削減
- ・原材料：314千t
- ・総エネルギー投入量：1,983千GJ
- ・水資源投入量：1,094 t
- ・リサイクル率[※]：85.40%
- ※ 単純 (埋立・焼却) 廃棄物を除く廃棄物量の総廃棄物量比



- 事業を通じた脱炭素への貢献
- 購入電力の再生可能エネルギー由来への切替え、省エネ設備への更新
- 廃棄物削減による環境負荷の低減
- レスポンシブル・ケア活動の推進

リケンテクスグループの事業活動

- 潜在的ニーズを予測し、研究開発を行っています。多様化するお客様のニーズに応えるため、コンパウンド製品・フィルム製品の新規配合処方開発にMI (マテリアルズ・インフォマティクス) を導入し、新製品開発の効率化・高速化を図っています。また、環境負荷の小さい原材料を使用した製品の開発も行っています。
- これまでに構築した供給網を活用し、グローバル拠点の連携による原材料の安定調達を行っています。
- 環境方針・グリーン調達基準に基づき、環境協力要請や各種コミュニケーションツールを用いて持続可能なサプライチェーン構築を推進しています。
- 製造段階で発生する単純 (埋立・焼却) 廃棄物の削減を環境管理活動の主要課題に位置づけています。廃棄物の発生そのものの抑制を図るとともに、発生した廃棄物に関しては分別を徹底し、マテリアルリサイクルなどへの有効利用を図っています。
- 品質方針「顧客第一、品質第一を念頭におき、信頼性の高い製品およびサービスを提供する」を掲げ、ISO9001に準拠したものの造りに取り組んでいます。
- 環境への負荷を低減するために、化学物質の管理を実施しています。また、省エネルギーで加工できる製品設計やロスが少ない製造工程で生産することによるCO₂排出量および産業廃棄物の削減に取り組んでいます。
- 当社の製品は自動車、建築、医療、情報機器、電線、食品包材など、様々な用途に応じて加工され、暮らしの中で活躍しています。
- 将来新たに係わっていくであろう社会の様々な領域を含む「すべての生活空間」に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して、製品の開発・製造・販売を続けていきます。
- お客様のご要望を具現化しグローバルでタイムリーに製品をお届けしています。
- 塩化ビニル樹脂や熱可塑性エラストマーをはじめ、多様な樹脂素材を使用したコンパウンド製品・フィルム製品を取り揃えています。お客様とともに時代の変化に対応し、マテリアル・ソリューション・サプライヤーとしての使命を果たしていきます。
- すべてのステークホルダーの皆様へ安心・安全で安定した製品提供を継続していくことを目指しており、お取引先様との相互信頼に基づくパートナーシップを構築することで市場や環境の変化に対応しています。
- 製品の配送効率の向上に取り組むとともに、協力運送会社を対象に環境を含めた品質監査を定期的実施しています。